

カーペット（繊維系床材）のメンテナンスレポート

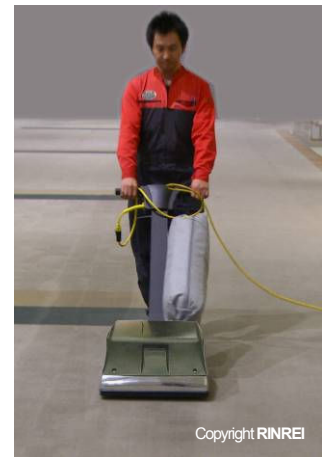
クリーニング方式編 カーペットの洗浄クリーニングとメンテナンスポイント

各洗浄方式における事前バキュームについて



【作業工程】

- 1) 粗ゴミを回収する。
- 2) 作業エリアのパイルが潰れている方向を確認
- 3) アップライトバキュームで、洗浄するエリアをバキュームする。



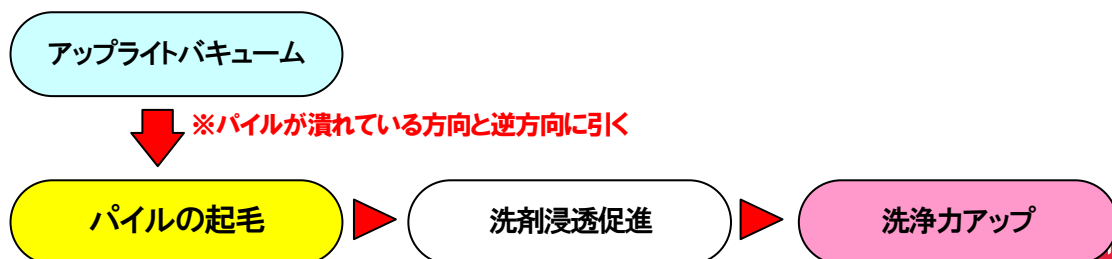
ウィックバックを防止する事、洗浄効果を向上させる事を目的に行う。
 洗剤を使用するクリーニング作業前にバキュームを行うもう一つの理由が、パイルを起毛させる事であるため、使用するバキュームは必ずアップライト型バキュームを使用する必要がある。

洗剤の浸透を早め、洗浄効果をUPさせるために、パイルを起毛する

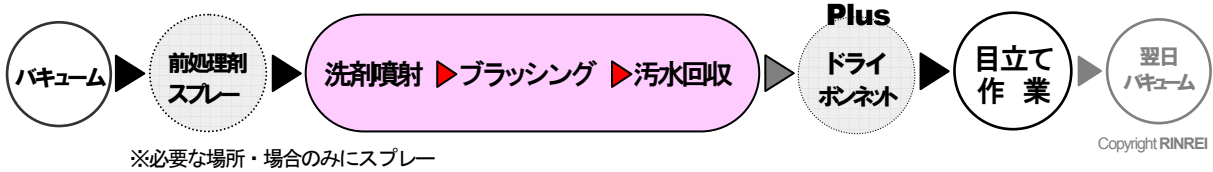
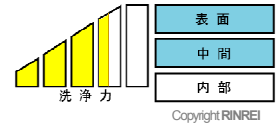
パイルが潰れたままの状態でも洗浄を行っても、表面的な汚れを除去するだけで、パイル内部の洗浄・除去は行えないので、洗浄前のパイル起毛は必須の作業になる。
 洗浄前に行うバキューム作業は、パイルの潰れた方向と逆の方向にバキュームを行う必要があるため、**洗浄前に実施するバキュームは、必ずアップライトバキュームを使用し、バキュームを行う前にパイルの潰れている方向を確認した上で、潰れている方向とは逆の方向に、ゆっくりとバキュームを引きながらバキュームを掛ける必要がある。**



アップライトバキュームを使用したバキューム作業の方向



5b ニューエクストラクションPlus方式



作業効率: 120 m²/1時間・1名
 使用洗剤: 無発泡洗クリーナー
 ※前処理剤はプレスブレードクリーナー
 使用機材: ・ロールブラシ型エクストラクター
 ・目立てブラシ、(スプレーヤー)
 ・ポリッシャー、ボンネットパッド

- [長所]
- 洗淨性に優れ、パイル内部の土砂除去能力に最も優れている。
 - 広いエリアの作業も効率良く行うことができる。
 - 水分回収率が高いため乾燥時間が比較的短く、カーペットの縮みを抑制する。
 - ドライボンネットを行う事で汚れ除去性向上と乾燥時間の大幅短縮が可能になる。
- [短所]
- 汚れが進行してからの作業では、洗淨力において2ステップに比べわずかに劣る。
 - 土砂汚れが激しい箇所ではウイックバックが発生する可能性がある。

(メンテナンスポイント)

エクストラクション方式の短所である洗淨力の弱さを強力なブラッシングでカバーした洗淨方式です。
 [洗剤のジェット噴射]→[ブラッシング]→[汚水回収]を1工程1台で行えるため、広い面積に適しています。
 この方式は、マシンの能力に寄るところが大きいので、マシン購入の際は十分な検討が必要です。
 作業前に汚れの多い箇所は**プレスプレー液を予め噴霧器などでスプレーしておく**ことが重要です。
 また、**汚れの多い箇所や獣道などでは、洗淨速度を遅くしてゆっくりと洗淨を行う**か、2パス洗淨を行います。
 歩行量が多くパイルが潰れたエリアは、洗淨効率が極端に低下しますので、あらかじめ**アップライトバキューム**
を入念にかけて、パイルを起毛させておき、プレスプレー液を事前に散布しておくことで効果的です。
 作業後、乾燥までに時間がかかるとウイックバック発生の原因になるので、**ドライボンネットを用いたPlus方式**
 を行うことで**ウイックバックを抑制**するだけでなく、仕上がりりを良くし乾燥時間を短縮させることができます。
 洗淨作業終了後、**目立てブラシを用いてパイルの目立てを行って**おくことで、乾燥を早める効果があります。

洗淨適性一覧	カットパイル		ループパイル		カット&ループ	
	毛足短い ペロア等	毛足長い サキノニー等	高低差あり H/Lループ等	レベルループ	ハイカット ローループ	レベルカット レベルループ
アキスミンスター	○	▲	/	/	●	○
ウルトン	○	▲	/	/	●	○
タフテッド	○	▲	●	○	●	○
タイルカーペット	○	▲	●	○	●	○
コードカーペット	/	/	/	○	/	/
電着(人工芝など)	▲	▲	/	/	/	/
ニードルパンチ※	● パイルの無いカーペット					

Copyright RINREI

○:適している ●:適するが制約あり ▲:あまり適していない ×:適用不可

